



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



南部保育所
新春あそび

第59号

令和2年（2020年）

2月1日発行

石川県宝達志水町議会

- 令和元年第4回定例会・・・・・・・・・・2
- 地域医療構想の推進を求める意見書を国・県へ提出・・・4
- 「町政を問う」一般質問（9名）・・・・・・・・・・6
- 会期中の常任委員会審議・・・・・・・・・・16

年頭のごあいさつ



宝達志水町議会議長

柴田 捷

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭に当たり町議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつ申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心からおよころび申し上げます。また、日頃から町政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年9月に、病院の再編・統合が必要な医療機関として宝達志水病院が厚生労働省から名指しされ、地域住民を始め多くの関係者に衝撃と不安を与えました。本町議会といたしましても、これにいち早く対応すべく法律の規定に基づき「地域の実情を踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書」を内閣総理大臣を始めとする関係大臣ほか石川県知事、石川県議会議長に提出したところであります。

今後とも、町民本位の開かれた議会運営を目指すため、町民の皆様には、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



(本会議の様子)

第4回町議会定例会が、12月5日から13日にかけて開催され、決算関係8件が認定されたほか、補正予算関係の議案8件、条例1件、計画の策定・変更が2件、指定管理者の指定3件、損害賠償の額の決定1件が可決されました。また、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、適任として答申することに決定しました。

最終日には、病院運営特別委員会発委による「地域の実情を踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書」が2件追加提案され、可決されました。

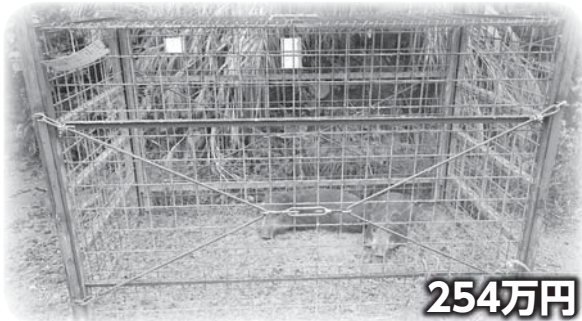
令和元年度 補正予算の状況

会 計 名		補正後の予算額	補正額
一 般 会 計		77億9,964万円	703万円
特別会計	国 民 健 康 保 険	16億5,007万円	1,310万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億 758万円	798万円
	介 護 保 険	18億9,372万円	債務負担行為補正のみのため額の計上はなし
	ケーブルテレビ事業	8,687万円	〃
企業会計	水 道 事 業	4億8,945万円	〃
	下 水 道 事 業	14億4,427万円	〃
	病 院 事 業	14億9,005万円	150万円

補正予算の主な内容

イノシシ捕獲奨励金

イノシシの捕獲件数の急増による増額



254万円

子ども医療費助成

医療給付の実績増加による増額



230万円

会計年度任用職員制度の導入

地方公務員法及び地方自治法の改正により、非正規職員が会計年度任用職員に移行され、諸手当が支給される。



中学校 要・準要保護対象者へ 修学旅行費の援助

修学旅行の実施を中学3年生の4月から中学2年生の3月に変更したことによる増額



63万円

議員別賛否の状況（賛否が分かれた議案等のみ） ○：賛成 ×：反対 △：退場

議案名 (主な内容)		結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	守田 幸則	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第50号	令和元年度宝達志水町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	欠
議案第59号	第2次宝達志水町総合計画基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	—	×	○	×	○	欠
発委第3号	地域の実情を踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書	可決	○	×	○	×	○	○	—	○	×	○	○	欠
平成30年度	認定第1号 宝達志水町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	○
	認定第4号 宝達志水町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
	認定第6号 宝達志水町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	×
	認定第7号 宝達志水町下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	×	×
	認定第8号 宝達志水町病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×

地域の実情を踏まえた地域医療構想の 推進を求める意見書を国、県に提出

昨年9月に国の地域医療構想に関するワーキンググループは、効率的で不足のない医療提供体制を構築するため、「再編・統合の議論が必要な医療機関」として全国424の病院名リストを公表した。

その中に、宝達志水病院が挙げたことを受けて、令和元年12月13日、議会定例会で病院運営特別委員会からの「地域の実情を踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書」が、起立多数で可決され、国、県に提出した。

なお、令和元年12月23日に、柴田議長をはじめ、塚本副議長、小島病院運営特別委員会委員長が県庁を訪れ、石川県北野健康福祉部長、石川県議会福村議長にそれぞれ意見書を手渡した。

石川県に提出した意見書の要旨は、次のとおりです。



▲意見書を提出する柴田議長

今回、公表された病院は、全国一律の基準により選定され、過疎化や冬場の積雪といった個別の事情が考慮されていないばかりか、開院時に町は、当時の病床数100床を30床削減して70床にして病院を建設したことなどが考慮されていない。また、リストの公表が原因で診療の場での医師と患者の信頼関係が壊れつつある事例が報告されている。

よって、当町議会は、「今回発表された424の病院のリストを撤回するよう国に要請すること」、「地域医療構想の推進にあたっては、地域の実情を十分に踏まえるよう努めること」を強く要望する。

※意見書とは…地方自治法に定められた議会の権限です。

第99条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。

第4回定例会

～人事関係～

○人権擁護委員の推薦

野崎 篤（河原）

長谷川 明弘（小川）

（任期は、法務大臣の任命を受けた日から3年間）

第4回臨時会

第4回臨時会が、10月29日に開催され、「30年災林道宝達新宮線2号箇所災害復旧工事請負契約の締結について（契約額1億978万円）の議案1件が、賛成多数により可決されました。

表彰

11月13日、全国町村議会議長会創立70周年記念式典が東京で開催されました。

その席上で表彰式が行われ、北議員に全国町村議会議長会から永年功労者表彰が授与されました。

三十年以上在職者表彰

北 信幸 議員



討論！

平成30年度決算についての討論

町民要求に耳を傾け、実現に歩み出すべき



小島 昌治 議員

平成30年度の8件の決算中、4つの決算に反対する。

厚生労働省の調査で、平成30年度という年は労働者の実質賃金が5年前と比較して15万円も減っていることが示されている。こういう時に、（地方自治法で）住民の福祉と健康を守る事を規定している町の役割は重要である。平

成30年度は、一般会計で4億円を超える実質単年度収支の黒字である。加えて、宝達志水町の財政状況はとうとう、石川県内でトップクラスにまでなっている。それにもかかわらず、町民の皆さんからは「高すぎる下水道料金を引き下げてほしい」「高すぎる国民健康保険税をせめてサラリーマン並みに引き下げてほしい」「健康に生きるために公共施設の使用料金をなくしてほしい」「医療費や介護費用の支払いで生活が大変。なんとかしてほしい」「病児保育を実施して、安心して仕事に行きたい」など、願いが年々、増えている状況がある。特に、下水道料金の高さは他の市町村から宝達志水町に転居しようという方々にとって、また、宝達志水町に住み続けるという若者にとって、致命的な高さであることを町長は認識すべきである。

町民の方々の要望を実現する財源はある（無いのは町民を思いやる心）ことを指摘し討論を終わる。



▲下水道志雄処理場

町政を問う

議員9人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

- 金田 之治 議員 7
 - ・宝達志水病院の再編が必要と公表されたことによる町の対応は
 - ・第2次総合計画における小学校、保育所の統廃合の取扱いについて
- 土上 猛 議員 8
 - ・野球場フェンス修繕工事が遅くなった経緯は
 - ・冠水する町道の早期整備着工を
- 北本 俊一 議員 9
 - ・子育て支援にいろんな施策を
 - ・若者定住のために施策拡充を
- 松浦 文治 議員 10
 - ・宝達志水病院の必要性を国・県に訴えるべき
 - ・公共施設での除草剤の適正な使用の取組と啓発が必要
- 岩根 信水 議員 11
 - ・本町独自の奨学金制度の導入を
- 勝二 正人 議員 12
 - ・東間地区の花火大会を町のイベントに
 - ・イノシシ捕獲奨励金の交付期間延長を
- 林 稔 議員 13
 - ・宝達志水町で業務の効率化をせよ
 - ・宝達中学校のグラウンドを整備せよ
- 塚本 勇仁 議員 14
 - ・協定が災害に適応できるか訓練で検証を
 - ・志雄地区の消防車格納庫の移転を
- 小島 昌治 議員 15
 - ・『災害の時代』に対応できる施策の充実を
 - ・法律に基づき病院窓口での医療費支払いの減額・免除を

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



金田 之治 議員

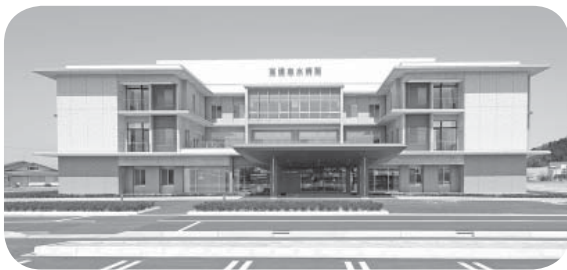
問 金田議員
厚生労働省が公表した全国の自治体などが運営する公立・公的病院のうち、再編や議論が必要と判断した424施設の病院の中に、宝達志水病院が含まれていた。
宝達志水病院は、昭和の大合併時に町立志

病院の再編が必要と 公表されたことによる町の対応は

国・県に対し、対策を強く要望していく

答 寶達町長
医療資源の現状把握や将来の医療需要の見通しなどに基づいて、町立病院が担うべき役割、機能などを示し、地域の実態に即した地域医療構想調整会議の活性化や医師確保などの抜本的な対策実施について、国・県に対し、強く要望していく。

問 金田議員
雄病院として、旧5村の村民を結びつける象徴として誕生した歴史ある病院であり、本町にとってはなくてはならない病院である。
一律の基準により機械的に分類したデータをもとに病院名を公表したことは、存続のためには多くの人たちが費やした努力を踏みにじるものである。
町長は、報道があった9月26日から今日まで、どのような対応、行動をしたのか。また、今後の対応を問う。



▲宝達志水病院

答 寶達町長
どのような主張がいののか十分に考慮し、現状を基本に運営が続けられるよう取組んでいく。

問 金田議員
町民に、大きな不安を与えた案件であり、町長自らが直接県や国に出向いて反論していくことも町民の理解を得る大きな力になると考えるがいかがか。

総合計画における小学校、 保育所統廃合の取扱いは

教育施設の整備・充実を

問 金田議員

今回の総合計画基本構想で、重点方針として「子育て環境といえは宝達志水町とされるような支援施策の充実、特色ある地域及び学校教育の充実」と示されているが、15歳未満の年少人口を過大に推計された総合計画の中で、いまだ進んでいない状況である小学校・保育所の統廃合について、どのように進めようとしているのか、何をもち、重点方針としているのかお聞きする。

答 寶達町長

「誇り高き若者を育てる」を基本方針とし、よりきめ細やかで多様な教育内容の実践や教



▲中央保育所

育施設の整備・充実を考えている。
小学校の統廃合については、これまでのとおり、志雄・押水地区に1校ずつにしたいと考えている。
保育所については、4保育所とし必要な改修等を計画的に実施し環境の整備を行ってきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



土上 猛 議員

野球場フェンス修繕工事が遅くなった経緯は

各種大会などの
スケジュール調整のため

問 土上議員

野球場のフェンス倒壊による修繕工事が春先に予算がついているのに、なぜこの時期まで工事が着手できなかったのか、このいきさつをお聞きます。

また、業者の選考において以前は、体育施設の管理士がいる業者を選考していたが、今回は何を基準に選考したのかお聞きます。

答 高下副町長

業者選考について、フェンスの修繕ができる業者を選考した。

答 参事兼財政課長

業者選考基準については、これまでのフェンス、安全施設の修繕

実績等を考慮し選定した。

答 生涯学習課長

施設利用者と協議の中で、年度当初に工事を着手すると、すでに決まっている各種大会や練習試合などの年間スケジュールに影響がでるため、秋以降に工事を発注した。



▲白虎山公園簡易野球場

冠水する町道の早期整備着工を

早期実現は厳しい現状である



▲冠水した町道

問 土上議員

大雨になるときまつて町道が冠水するルートが、町道柳瀬敷波2号線、JR下から東方向150メートルの範囲及び交差点から東側200メートルの地点、樋川小学校の通学路にあたる所まで、また荻島柳瀬1号線羽咋市よりの7戸のまとまったエリアの3箇所が身動きできなくなる程、町道が冠水し、車も人も動きがとれない状態となる。

どうすればよいか、

打開策は町の方で考えていると思うので、早期着工をお願いしたい。

答 寶達町長

原因などの調査及び課題の追求を行っており、近年の大雨により既設排水路の流下能力を超えることが大きな原因となっている。

排水路の整備には多額の工事費が必要である上に、雨水が流れ込む長者川の大規模な改修が必要と考えられ、早期実現は厳しい現状である。

その他の質問

問 役場庁舎の喫煙場所がいまだ改良されていないが、いつ実施するのか。

答 特定屋外喫煙場所として、大集会室東側の屋外に区画を設けており、今のところ改良等は考えていない。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



北本 俊一 議員

問 北本議員
 先般のふるさと人口対策特別委員会で、担当課長から今年度の子どもの出生数が42人と聞き、緊急事態だと驚いている。
 毎年、いろんな施策をしながら子育て支援してるにもかかわらずなぜか。かほく市、羽咋市の子育て支援の資料を見ると、本町とあまり政策も変わっていないと思う。反対に本町の方が成長祝い

子育て支援に いろんな施策を 生活実態調査を実施する

金、出産祝い金など多い部分もあり、子育て支援に力を入れている。これからは、執行部と議会が一丸となって考えなくてはならない。子どもを育てるには、働かなくてはいけない。そのためにベビシッターの創設、延長保育、休日保育などを考えてはどうか。今後、子どもの数を現状維持し増やしていくためにもいろんな考えを持ってやってほしい。

答 寶達町長
 本町の少子化の原因として、経済的不安、晩婚化及び未婚化、若者の町外への流出があげられる。
 これまで、18歳までの子どもの医療費の無償化や保育料無償化の拡充、出産祝い金の拡充など行ってきたおり、人口減少を抑える意味では一定の効果はあると思うが、今年の出生数が40人前半と

見込まれることから、これまで以上に対策に力を入れていかなければいけないと考えている。
 今後の対策として、子育て世帯の実態を把握することが必要であるので、子育て世帯の生活実態調査を実施したいと考えている。
 町が存続していくためには、少子化対策は最重点施策の一つであるので、さらなる拡充を図っていきたい。



若者定住のために 施策拡充を

より充実した内容の事業を

問 北本議員

若者にこの町に住んでもらうために数年前からいろいろな施策を拡充しながらやってきている。

町の住宅は、年収によつてはすぐに入居することができないが、今年度、すぐに入居できる民間のアパートが3、4棟新築され、本町にも増えてきたことをうれしく思う。

若者が定住するには、各地域での取組も必要である。各集落で、地面を提供すれば新築しようかという気持ちになるのではないか。

これからは、いろんな施策を真剣に考え、来年度にしっかりとした予算をつけていた

きたい。

答 寶達町長

マイホーム取得奨励金の交付をはじめ、若者通勤サポート事業、町有地の売却などを実施している。

雇用の創出や交流人口の拡大などこれまでの事業について評価・分析をしながら、より充実した内容の事業を展開していきたい。



松浦 文治 議員

宝達志水病院の必要性を

国・県に訴えるべき

現状を堅持する考えである

問 松浦議員

厚生労働省が全国の公的病院のうち、再編・統合を促す必要があると判断した病院の中に、宝達志水病院も含まれており、利用している町民からは、宝達志水病院の今後に強い不安を持っているという声を聞く。

本町としては、今回の公表で、地域の医療を町としてどう守っていくのかよい機会を貰ったと考え、町・病院・町民がしっかりと議論し、今後の医療体制維持の必要性を町全体で共有することが大切であると考え、宝達志水病院の必要性・重要性についてどう考えているのか。

こういったことを踏

まえ、石川県に対して、国の説明会開催を求め、町としての現状・町民の声・宝達志水病院の必要性を直接国に訴えるべきではないか。

答 寶達町長

町立宝達志水病院は、町民の生活を守る町立病院として不可欠な医療機関と考えている。

10月に「地域医療構想に関する地方自治体等の意見交換会」が名古屋で開催され、今後、県ではこの意見交換会の主張内容を踏まえ年内に関係者による意見交換が行われる予定である。

宝達志水病院は、石川県医療計画に示すと



▲宝達志水病院

おり、必要とされる病床計画を基に病床数を決定(マイナス30%の病床削減を完了)しており、既にダウンサイジングを終えていることから、現状を堅持する考えである。

問 松浦議員

町が管理する保育所、小中学校や公園等の子どもたちが主に使用する施設で、除草剤の使用状況をお聞きする。公共施設や農地などでの除草剤使用を控えるべきではないか。人や環境の安全のために適正な使用がされるような取組と啓発が必要と考えるが、いかがか。

答 寶達町長

保育所では子どもが普段通らない箇所において、必要最小限の量で時間帯を考慮し、飛散防止に配慮して散布している。中学校ではグラウンド周囲で使用しており、部活動が行われていない時間帯に散布している。体育施設では、使用区域に立て札をし、注意喚起を行っている。

今後も使用に際しては細心の注意を払い、適切に使用していく。

その他の質問

問 福祉避難所について

答 福祉避難所の趣旨を広く周知していく。

問 宝浪漫マラソン

2019について
答 来年度以降も実施していきたい。

公共施設での除草剤の適正な使用の取組と啓発が必要

細心の注意を払い適切に使用していく

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

本町独自の 奨学金制度の導入を

調査・研究し町独自の助成制度導入を
検討していく

問 岩根議員
3点のことに対応する
ため本町独自の奨学
金制度を導入すること
が望ましいと考えてい
る。

1点目は、少子化対
策である。
子ども一人当たり
にかかる教育費は広く周
知されており、結婚し
自分たちが準備できる

2点目は、学校卒業
後本町に住所をおく方
に、その期間に応じた
奨学金の返済金を還付
していくことで定住対
策となり得ることであ
る。
町から転出するタイ
ミングは就職、結婚の
2つの大きな転機の時
期であることが多い。
学校卒業後、就職先の
近辺に転出したり、結
婚を機に引っ越すする

貯蓄を見越して産む子
どもの人数を制限して
いる傾向がある。
大学、短大、専門学
校等に通うための高額
な学費を銀行の教育ロ
ーンや民間の奨学金で
賄うことは将来的に不
安を感じる方もいる。
その点において、町が
運営する奨学金であれ
ばずいぶん安心感があ
る。
金銭的不安がなくな
れば、子どもは何人ま
でということもなくな
るのではないか。



3点目に貧困層とい
われる家庭の子どもた
ちにも安心して進学で
きるチャンスを与える
ことである。
親のいない子や家庭
事情で学費を準備でき
ない子どもたちの中

も大学や専門学校に通
いたいと願っている子
がいるはずである。そ
のような子どもたちに
町としてチャンスを与
えることで愛町心も育
めるのではないか。

以上の観点から本町
独自の奨学金制度を導
入してはどうかと思っ
たが、町としての方向性
を示されたい。

答 寶達町長

子育てを行う上で教
育費は経済的に大きな
不安要素であり、特に
大学等に係る費用は、
家庭において大きな負
担となっていると認識
している。

国の奨学金制度や銀
行の教育ローン等はあるが、支援の種類や対
象者は限定的である。

家庭の経済状況にか
かわらず、意欲のある
全ての学生が質の高い
教育を受けることがで
きるようにすることは
極めて重要なことであ

り、教育の機会均等を
図るための奨学金制度
に関しては、国と県の
奨学金制度を町が実情
に応じて補完すること
も必要かと考える。
また、町独自の助成
制度は、家庭の教育費
負担や奨学金の償還に
係る不安及び負担が軽
減され少子化対策につ
ながるとともに、本町
在住を条件とすること
で町からの人口流出を
抑制する一助にもなる
と考えている。
地元に対する愛着の
向上を図り、地元就労
と定住の促進につなげ
るため、先進事例を調
査・研究し町独自の助
成制度導入を検討して
いく。



勝 二 正 人 議員

東間地区の花火大会を 町のイベントに

存続できるよう模索したい

問 勝二議員

東間地区の花火大会では、趣向を凝らしたさまざまな花火が打ち上げられ、毎年多くの人が訪れている。

これまで、寄付や県からの補助金で開催されてきたが、青年団の減少などで今年で最後となり、落胆の声が多く聞かれる。

火大会を継続できる考えはないか伺う。

答 寶達町長
町では、地域の活性化や交流人口の拡大につながる大切なイベントの一つとして、能登ふるさと博の事業補助金を活用し支援を行っている。

「東間の花火」と親しんできた伝統ある行事が存続できないか模索したいと考えている。



▲東間花火大会

イノシシ捕獲奨励金の 交付期間延長を

これまでの経緯を踏まえ検討したい



▲ワナにかかったイノシシ

問 勝二議員

本町では、区域内においてイノシシの捕獲駆除をした者に対し、捕獲奨励金を交付しているが、対象とする期間が4月1日から10月31日までとなっている。狩猟意欲を高めるため、期間の延長を検討してはいかがか。

答 寶達町長

町として、鳥獣の被害防止に重点的に取り組むために、報奨金の交付期間の延長について、これまでの経緯を踏まえ検討したいと考えている。

答 農林水産課長

奨励金は、当初、1年を通じて交付していたが町の財政的負担が大きくなってきたことなどから、現在は、11月から翌年3月までの狩猟期間は奨励金を交付しない要綱となっている。ただし、国やJAはくいの奨励金は狩猟期間であっても交付されている。

今後は、有害鳥獣駆除隊と協議し、検討したい。

その他の質問

問 集落の秋季祭礼について、継承や保存などの対策を検討してはいかがか。

答 集落と相談しながら検討していきたい。

一般質問

「町政を問う」

(町政全般にわたる質問)



林

稔 議員

岡 林議員

RPAとは、

「Robotic Process Automation」の略語で、ホワイトカラーの業務をいわゆる「ロボット」に代行させるソフトウェアツールの総称として使われる。人間の代わりに働くことから、「仮想的労働者」や「デジタル・レイバー」とも呼ばれる。

宝達志水町で 業務の効率化をせよ

RPAの導入を検証する

6月の一般質問でRPAの導入について、質問したが、現在までの状況とこれからの展開について、詳しい説明を。

岡 寶達町長

まず、RPAの導入については、本年6月議会において答弁したとおり、今年度、試行導入を行い、その導入効果について検証を進めているところである。

具体的には、全庁的にRPAについての理解を深めるため、職員向けにデモンストレーションを実施するとともに、RPAの対象となる業務の選定のためにアンケート調査を実施している。

現在、アンケート調査の結果を踏まえ、具体的な試験運用を行うための作業を進めているところであり、今後は、RPAの導入による作業時間の削減をはじめとした業務改善効

果について検証を行っていきたいと考えている。

現在行っている試行導入の結果を慎重に検証しながら、RPAの導入が本町にとって効果的な町政運営の実現に寄与するものであると見込まれる場合には、本格的な導入について検証を進めていきたいと考えている。



▲宝達中学校グラウンド

宝達中学校のグラウンドを 整備せよ

前向きに検討したい

岡 林議員

宝達中学校のグラウンドについては、強風時の砂の舞い上がり問題視されている。視察研修で訪れた高島町の中学校のグラウンドは、芝生とグラウンドが良い状態であった。多くの資金がphoto

の補助事業とのことだが、宝達中学校も芝生とグラウンド整備の申請をしようか。

岡 寶達町長

今後の小・中学校における教育・施設環境整備は町の重要事業の優先度を考慮し、計画的に事業を実施していく必要があることから、宝達中学校の芝生とグラウンドの整備についても、その中で前向きに検討したいと考えている。



塚本 勇 仁 議員

協定が災害に適應できるか 訓練で検証を

訓練実施を検討する

問 塚本議員

今年、台風による記録的な大雨のため、他県では大災害になったが、本町においても今回のような大災害が起こる可能性がある。このような災害を早く対処するため、重機の使用が必要となってくると思う。平成19年に押水、志雄建設業協会と協定を締結しているが協定が実際の災害に適應できる内容かどうか訓練を通じて検証してはどうか。また、建設業者だけでなく、その他の協定に対しても実効性を検証してはどうか。

答 寶達町長

町では協定書に基づき業者から提出された「応急対策工事実施体制表」により人員や資材、重機等の保有数等の状況を把握するとともに、昨年度は石川県防災総合訓練において、大型機械を使った訓練なども実施した。また、他の協定も含め、実効性を検証するための訓練を検討していく。

志雄地区の 消防車格納庫の移転を

消防団と協議し検討していく



▲志雄地区消防車格納庫

問 塚本議員

消防団活動について、大型化また多様化している災害に対して、訓練や研修の実施が必要となってくるのではないかと。旧志雄地区では現在役場車庫の一部を消防車格納庫として使用しているが、石川県ハザードマップによると50cm以上の浸水地区となっており、災害活動時の消防車使用に支障がある。現在、消防団員の待機所・研修所・更衣室もないことから、

候補地として防災ヘリも離発着できる場所である吉野屋体育館周辺の空き施設を整備し、消防車格納庫も含め移転する必要があると考えるがいかがか。

答 寶達町長

消防団の旧志雄地区分団の車庫は県が公表した洪水浸水想定区域内にある。

万一の際には消防団の車両や資機材が使用できず、機能を喪失する恐れがあること、また、団員の安全についても懸念される。

消防団は地域に根ざした地域防災の要であり、その拠点の立地については安全性や利便性、初動態勢など、様々な観点から検討する必要がある。

今後、消防団と協議しつつ検討していきたいと考えている。



小島 昌治 議員

〔小島議員〕 私は11月、千曲川の決壊した後の長野市の長沼地区などに2度、ボランティアに行ってきた。家の軒下に入り込んだ粘土質の泥上げ作業と、リンゴ園の木の根っこを覆っている厚さ30cm程の泥の除去作業である。昼食は被災したおにぎりを被災地域の方の軒先を借りて食べるのだが、近所の方々が集まってきて災害の状況を語ってくるのである。これが勉強になるのである。

『災害の時代』に 対応できる施策の充実を

「第二次総合計画で防災対策に
しっかり取り組む」

この地域は、町内会の住民と役場の職員が専門家も交えて、数年前にハザードマップに基づいた防災計画と避難計画を作っていたのである。驚いたのは、作ったのは計画だけでなく、河岸の決壊を予想して、水を逃がすための側溝の整備や3階建ての頑丈な避難所の建設などが完成していたことである。今回、この建物と決壊を想定した地域整備が命を救った」と語っていたことが印象的であった。住民の命を守ることにまじめな行政と専門家のアドバイス、そして住民の知恵との合体が災害を最小限にとどめた。

まず、町内を流れる県管理の全二級河川の洪水想定をし、被害想定、作成と災害情報の徹底、避難計画作りへ住民との懇談を進めるべきだ。

〔寶達町長〕 県には要望することは、同時に、町として十分な対策が必要だと認識している。



▲千曲川の堤防決壊により2m近い高さの水が押し寄せた長野市長沼地区
撮11月12日

法律に基づき病院窓口での 医療費支払いの減額・免除を

制度の周知を図っていききたい

〔小島議員〕

国民健康保険法は国民健康保険が社会保障の制度であることをうたっている。法44条には「経済的事由により」医療費の支払いが困難になったときには病院窓口での医療費の支払いを免除、減額・支払い猶予をしてもらえる。ところが、宝達志水病院では誰も利用されて

いない（制度の周知徹底の問題だけでない問題がある）。この制度を利用する町民がいれば交付税として国からお金が措置される。しかし、交付税措置される基準（生活保護基準の1.1倍まで）はあまりにも低い所得のときだ。そのため、全国の自治体では生活保護基準の1.5倍までの所得の方に

枠を広げて制度の利用を促している。住民の命を守ることに一生懸命の自治体が多くある。一方、国民健康保険制度は社会保障の制度であるにもかかわらず、サラリーマンが加入している組合健康保険や町長も加入している共済保険の保険料の1.7倍の高さであるという矛盾を抱えている。これは国や県の予算措置の問題でもあるが、せめて、宝達志水町民には経済的な理由で必要な医療を受ける機会を損なわせないように町の国民健康保険加入者の方々の医療費の減額・免除規定の枠を充実させようではありませんか。町長にその、ご意志は？

〔寶達町長〕

これまでにも諸情勢に対応した改正を行っており、こうした対応と共に制度の周知を図っていききたい。

会期中の 常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(12月6日)

問 損害賠償支払いの根拠は。

答 町外の医院に通院中の患者で、時間外に当時の志雄病院に受診し入院となった。この治療が連続したものであり連帯責任を負うものであることから損害賠償額の1割の支払いとなった。

問 この補償によって、病院賠償責任保険の掛金は上がるのか。

答 掛金上がることはない。

問 病院賠償責任保険の賠償範囲は。

答 1事故につき1億円まで対応できる。

問 病院の売店はどうなっているか。

答 現在、業者の方で今後の月間売上や1日の利用者数を調査し人件費の計算をして

いるところである。また、永続的に運営できる売店を選定中である。

問 売店を町独自に直営でやることは考えているか。

答 人事の面で難しいところがあり、最終的手段として考えている。

問 志雄病院跡地でヒ素が検出されたことについての説明会を行うのか。

答 検出されたヒ素レベルは自然由来のものであるため、荻市区長への報告のみ行った。

教育厚生常任委員会

(12月9日)

問 放課後児童クラブの指導員は、法律で規定されている人数を配置していると思うが、現在何人か。

答 志雄、押水ともに3人配置しており、基準は満たしている。

問 放課後児童クラブの利用者数は。

答 現在、志雄、押水両クラブとも30人ほど利用している。

問 子ども医療費の増加について、病気の種別などの理由は分かっているのか。

答 入院、通院の別は分かるが、病気の種別までは不明で、増加理由は分からない。

問 国民健康保険特別会計補正予算の保険給付費等交付金償還金返納金について、医療費が見込みより少なかったということか。

答 被保険者数が減少したためか、予算ベースでみると給付費が減少しているが、現状は一人あたりの医療費は伸びている。

問 国保特別会計のシステム委託の効果は。現在のマイナンバーの交付状況からどのくらい増えるかと想定するか。

答 志雄、押水ともに3人配置しており、基準は満たしている。

問 令和3年度からマイナンバーカードと国民健康保険証はどちらでも使えるようになるが、マイナンバーカードの普及がどれだけ増えるか把握していない。



▲マイナンバーカード（見本）

問 保育所の指定管理期間を2年に縮めた理由は。

答 指定管理期間は債務負担行為額以上で予算を組むことができないため、長期間とすると人件費や修繕費の思わぬ増額に対応することができなくなることから、2年とした。

問 保育士の町職員と社会福祉協議会職員で賃金は違うのか。基本給、昇級の仕方は同じか。

答 町と社会福祉協議会の基準は違っており、町職員は55

歳未満の者は昇級している。社会福祉協議会職員は順次、社会福祉協議会の規定に基づき昇級している。

問 どのような評価をもって、新たに保育所の指定管理をすることになったのか。

答 町の指定管理候補者選定委員会で評価内容の審議をして選定した。

問 毎年の評価を示してほしい。業者の評価がAやAに近いB以外ならば他のところを探してもいいのではないか。

答 平成30年度はAと評価しており、新たな英語の取組や職員状況をみて評価した。

問 中学校の修学旅行で、2年生で実施している学校数は。学校として判断したのか。

答 県内で4、5校ある。年度初めは多忙というところから、中学2年生の3月に実施することに決めた。

問 第2次総合計画の中で人口減少や少子化対策に最大限の努力を行うことになって

いるが、現状、成長祝い金を一律に減額したり、年間40人程度の出生しかない中で、保育所の改修に2億円余りをかけるのは、総合計画の内容と逆行しているのではないかと。多額の費用をかけて保育所の改修をするのであれば、新たに保育所を建てた方がよいのではないか。

〔答〕総合計画は、先を見据え良い環境になるよう取組んでいく。保育所の改修については、新たに建設するとそれ以上の経費を要するため、改修することと決めている。成長祝い金の削減した財源は子育て支援対策に活用している。

総務産業建設常任委員会

(12月11日)

〔問〕町内の3駅の利用実態、看板の明示について、また、シルバー人材センターへの委託内容は。

〔答〕251台の駐車スペースがある。月極駐車場と一時駐車場に分け、一時駐車場は黄色の枠線で表示している。看板は月極、一時それぞれの駐車場に設置している。シルバー人材センターへは、週1回の車両調査を依頼している。申請がなく月に2回駐車している車両については、お知らせの紙をワイパーにはさみ使用料の納入を促している。



▲敷浪駅駐車場

〔問〕イノシシの頭数が増加しているが、宝達山周辺がイノシシの繁殖地となっているのであれば、周辺自治体との協議が必要と考えるが。

〔答〕羽咋郡市の自治体で有害鳥獣対策協議会を組織し、対策に取組んでいる。町の有害鳥獣駆除隊員と協議の場を設け、更なる対策を講じる。

〔問〕イノシシの不法投棄があったと聞く。イノシシの処分については、捕獲した者の責任において処分するものであるが埋却も難しくなってきた。町として処分場等を設ける必要があるのでは。

〔答〕処分場については、運営方法など課題なども多いが、設置に向け検討したい。

特別委員会審議

病院運営特別委員会

(9月13日)

旧志雄病院跡地からのヒ素検出問題で審議

9月13日に行われた病院運営特別委員会で、旧志雄病院跡地を11区分し、それぞれの場所の土を水に入れて、かきまぜた後でヒ素の含有量を図ると、5か所で基準値を上回る場所があったと報告がされた。

病院運営特別委員会は病院が隠さずに議会に報告してきたことを評価すると同時に、まず、その5か所についての精密再検査をすることを決めた。そして、精密再検査の結果、基準値を超えた場合には「基準値を上回ったことをどうとらえるか」、「基準値をどう判断するか」、「住民の健康への影響をどう判断するか」等の疑問を出し合い、これに答えることができる専門家を本委員会に招致すること

決め、閉会した。

病院運営特別委員会

(10月16日)

「心配しなくてよい」と専門家の講義で明らかに

精密再検査の結果が出て10月16日、病院運営特別委員会を招集し、まず、病院への聞き取りを行い、「病院はヒ素を使った薬の使用はしていないし、ヒ素が含まれる特定有害物質も使用していない」との説明を受けた。その後、医学博士で日本環境学会員でもある、児玉一八先生の講義が行われた。

児玉先生は今回検出された基準値を若干超える結果に対して、「心配いらない」と。その根拠として基準値の考え方、米やヒジキに入っているヒ素の含有量との比較などを講義され、「大事なことは、事実が事実として住民に包み隠さず説明すること」の重要性を話しされ、講義が終わった。

委員会は、町執行部に住民

説明会の開催を求めて閉会した。

問 ヒ素というのは、体内に取り込まなければ問題はないのか。もし、体内にたまってそれが自然に排出されるのか。

答 体内に入らなければ特に問題はないが、入ったとしても毎日入る量が少なければ肝臓の方で解毒して尿なりで排出する。

宝達志水病院を「無くせ」との厚生労働省発表に怒り広がる

10月16日に行われた病院運営特別委員会では厚生労働省の発表への批判と同時に、町の対応の有無についての質問が集中した。その中で、金田議員より、「多くの町民から不安な声がとどけられている。町長は県や国に、『宝達志水病院をなくすことはできない』との意見表明はされたのか」との質問に対して、町長は無言。「残念だ」とのさ

さやきが議会側から聞こえた。

一方、西澤病院長は「今の状況を地域としても、維持していかねばいけない。その対策も検討中」と答弁した。

その後、委員会は推移を見守りながら、全議員に説明した後で、12月議会で、委員会発議による意見書の提出を行うことを確認し、閉会した。

問 今後、どのような日程・経過を経て統廃合が進められていくのか。わかれば教えてください。

答 団塊の世代が75歳になる2025年問題がありこれに対応するため、厚生労働省が必要な病床数の計算を行なって、おそらく今より2割位減らすようなプランが提示されていると思う。それに向けて各都道府県に対し、地域医療構想という名前前で議論するよう委ねたが、この成果が一向に上がらないので今回の発表に至ったのではないかと思う。今のところ、県の地域医療構想の調整会議がどのように進

んでいくのか、今後の状況を見ないとわからない。

問 宝達志水病院が地域に果たしている役割について、説明してほしい。

答 病院全体の方向は、地域で求められる医療を限りなく提供するということで、在宅医療支援病院として訪問診療をさらに充実させていきたい。また、特別養護老人施設等の介護施設の後方病院としても重要な役割を担っていることから、これらと連携しながらやっていきたい。



▲宝達志水病院

問 今回の厚生労働省の発表について、どこまでつかんできたのか。

答 県の方から9月中に厚生労働省から何らかの発表があるとは聞いていた。内容としては急性期ベッドを多く持っているところが非常に苦しい状況になるのではないかとというのがもっぱらの会議の雰囲気だった。前日に、うちの病院の名前が挙がりそうだと連絡が来て具体的な資料はその当日だった。資料の本身も急性期の項目が評価対象であると非常に簡単なものだった。

問 町執行部として県に対し、うちの町にとっては大変な問題だとこの危機的な町民意見を伝えたかどうか。町長は、じつと待つという感じか。

答 いろんな場を通じて主張して、この病院をしっかりと守っていかなければならない。ある程度の規模の変更はあるかもしれないけれど病院を続けていくという意思を持って進んでいきたい。

問 この委員会では、宝達志水病院の統廃合には賛成しかねるという意見をまとめて、議会に委員会発議として県や国の機関にこの意思を伝えるという意見書を出せるようにしたいがいかがか。

答 期限が1年あるといえども、何か反論しておかないといけないという思いだ。

病院運営特別委員会

(11月26日)

意見書について 委員会内部で審議

問 国に対する意見書の内容については結構だと思う。県の厚生労働部にも出しているだけないか。

答 県に提出する分については、また提案するので、県独自の意見書として提出する形でやっていきたい。

問 今回の病院の再編・統合で、この病院はもうだめなんだと噂が広がって、転職や引き抜きなどの状況に遭っている病院もあるという

記事があったが、そういうことはないか。

問 記事が出たときに全職員を集めて、そういうことはないということ、過去の医療実績を示し安定した経営状況であることを伝えてある。一番心配しているのは、今ではなく、次の世代が就職をやめてしまうのではないかと心配している。

決算特別委員会

(11月7日・11日)

◎聞取り審査内容

問 特別交付税が減額となっているのはなぜか。

答 平成29年度は県全体で大雪による除雪、雪害対策費として増額交付されたが、平成30年度は県内および本町で災害等の特殊事情がなく、県への配分が減額となったことから町への交付額も減額となった。

問 合併振興基金の状況は。

答 基金は合併特例債の償還が終わったものから町づくり計画に上げた事業に使うこ

とができ、現在の基金残高は、752百万円余りで使用可能額は654百万円である。

問 若者通勤サポート事業の追跡調査、対象年齢について

答 補助金支給後の在住調査は実施していないが、今後検討する。また、対象年齢を他の若者定住関係の補助金対象年齢の45歳以下とすることに今後検討する。

問 黒イチジクのネーミングについて

答 今後、黒イチジクのネーミングを募集する予定で、新年度予算に決定したネーミングの出荷箱等の作成費用を予算要求する予定である。

問 防犯カメラの設置計画台数は。

答 駅、公共施設、保育所周辺の道路に11台程度を計画している。

問 宝達中学校のグラウンド補修工事について

答 平成30年度にグラウンド半

分について補修工事を実施した。水はけ部分が悪い部分もあるので計画的に補修工事を実施していく。

問 小学校の遊具修繕について

答 遊具の保守点検により使用禁止となっているものもあり、全てのものを修繕・設置することは難しいが、児童の体力強化につながる運送等などの遊具を計画的に修繕していきたい。

問 小学校の洋式トイレ改修工事について

答 多額の予算がかかるが、児童の教育環境整備として予算要望していきたい。

問 ガラス等破損の原因者（保護者）負担について

答 2年目を迎え効果もあり、次年度からは負担させない方針である。

問 体育施設が有料化となり、利用者が減っているが。

答 指定管理している宝達志水スポーツクラブが、宝達志水祭りを企画するなど利用

者を増やしてはいるが、その年によって大きな大会などがあると使用できない期間がある。

問 体育施設の指定管理状況は。

答 現在、押水地区は宝達志水スポーツクラブと押水フットボールクラブシニアが管理しており、引き続き、指導等を行っていく。今後は、志雄地区の施設も含め考えていく。

問 武道館の改修状況について

答 12月5日の完成を目指して工事を進めている。検査や備品の搬入もあり、来年1

月初めから使用開始を考えている。

問 喜多家・岡部家の入場者数が減少している原因は。新幹線開業により増加したのではなかったか。

答 以前に増加したのは、「能登空港利用促進事業」として石川県企画振興部で喜多家をコースに入れた事業によるものと、北陸新幹線では、業者等から能登観光のスタートに喜多家を組入れたことによるものである。今年度は、県事業は入っておらず団体客が減少したことによる。

問 末森城跡の竹林整理は進んでいるのか。

答 森林組合が行う県事業に竹生野区が申請し、今年の8月から実施すると聞いている。3月には一部作業に入っているのではないかと聞いている。



▲完成した武道館

ふるさと人口対策特別委員会

(10月16日)

問 平成30年度の30歳未満の転出者205人のうち18歳から29歳までは174人とあるが、転入者の人数は。

答 30歳未満の転入者175人のうち18歳から29歳までは139人となっている。

問 婚活イベントについて、男性の参加人数に対して女性の参加者が少ないため中止になっているということだが、実績が上がってきている中もっと増やすよう考えるべきではないか。以前は、商工会へ補助金を交付して商工会青年部で行っていたが、そういったところへ依頼しているのか。

答 制度の立上げ時に商工会青年部も含めて、周知している。

問 定住促進協議会の事業状況は。

答 敷浪のやわらぎの郷の近くで空き家を借り上げし、暮らし体験を実施している。これまで4世帯の方に体験していただいた。また、町内の企業や移住定住対策等をまとめたパンフレットの作製や、県外、都市圏に配信される移住定住フェアなどに参加し、移住定住のPRとして促進につながる作業を行っている。



▲暮らし体験の家

問 空き家バンクに登録するときは家の状態などをきちんと確認しているのか。

答 登録する前には、石川県宅建協会へ調査委託を依頼し、

住める状態のものについてのみ登録をしている。

問 以前、宝達高校の後ろの住宅地を民間に売却したが、完売されたのか。

答 7区画分譲して3軒が売れ、家を建てたのは2軒である。

問 今年度の出生数が42名だが、想定範囲だったのか。

答 目標値としては今年度は90人という設定であった。

問 これまでの出生数は60人ぐらいで推移してきたが、今年度の見込みが42人というのは緊急事態である。子どもを増やすためにはどうすればいいのか、みんな考えていかなければならないと思うが。

答 子どもの増加が喫緊の課題であり、今、各課で子どもが一人でも二人でも増えるよう取り組んできている。

追跡レポート

あの質問を大追跡

過去の質問等の中から、あの質問がどうなったのか調査します。

平成30年11月
定例会の一般質問

積極的な攻めの
移住・定住対策を

本町に住んでみたいと思う人をいかにして呼び込むか。地域全体が連携して、移住してもらうための仕掛け作りを早急に確立し、移住希望者の掘り起こしなど積極的な取組が必要だ。

答弁

町独自の実働的な組織を構築して、移住・定住施策の充実に取り組んでいきたい。

その後

令和元年6月
宝達志水町定住促進協議会を設置。暮らし体験の家を整備し、町の移住・定住対策のPRを行った。

視察報告

一志病院と名張市民病院・名張市

病院運営特別委員会委員長 小島 昌治

委員会は、「24時間、どんな時にも子どもを診てほしい」との町民の願いと、「『うちの町のいい所10個』という町民アンケートがあれば、回答の一つに、『宝達志水病院があること』と書いてもらえるような病院になりたい」との、西澤病院長の願いの実現に向けて町民の方々の病院への要望を調査、学習をし、認識を深めるため、三重県津市にある県立一志病院と名張市の名張市民病院に10月17日・18日と視察に行ってきました。

委員会は、「24時間、どんな時にも子どもを診てほしい」との町民の願いと、「『うちの町のいい所10個』という町民アンケートがあれば、回答の一つに、『宝達志水病院があること』と書いてもらえるような病院になりたい」との、西澤病院長の願いの実現に向けて町民の方々の病院への要望を調査、学習をし、認識を深めるため、三重県津市にある県立一志病院と名張市の名張市民病院に10月17日・18日と視察に行ってきました。

なく、家庭医や総合診療医5人で地域の基本的な医療要求を「こなす」体制が敷かれていました。この病院で処置できない状態の時には、後方の専門医に紹介しています。総合診療医は、患者さんの「痛み」の原因を身体全体から判断し、適切に処置または紹介できる力量と研修時間が求められます。

視察パンフレットを作成

本委員会委員6名が、調べたり聞き取りしたことを学習パンフレットにしました。

このパンフレットは視察先にも事前に送付し、視察の充実を図りました。

三重県立一志病院の姿勢

内科・外科・小児科などが



▲三重県立一志病院

四方院長は「総合診療医は『診察を断る』ということはない。研修を積んだ総合診療医としての役割を地域でしっかり果たすことを基本姿勢にしている。地域医療の最終形態が総合診療医だと思っ

ている」と語っていました。私には、昔から続く、医院やクリニックの先生方の地域における役割が病床を抱える病院の医師一人一人にも求められていると理解しました。

医師の確保のために市長が大奮闘

名張市民病院は三重大学からの派遣医師が中心で、隣県（車で30分）の奈良県立医科大学、関西医科大学などからも医師が来られています。関西医科大学との関係は、市長がトツプセールスで関係を作って、寄付講座（県や市町が大学にお金を出して講座を開設してもらい、その講座の研究生に公立病院へ研修の名目で派遣する形態）を開設し、医師派遣を実現させてきました。

名張市長は将来を見据えて、今は筑波大学の医学部にも働きかけを行っている状況にあることをお聞きしました。また、三重県知事を名張市に招き、市長が医師確保で知事の協力を求める話し合いと合意が、市民350人が参加する対談会で実現しました。

国会視察

議会運営委員会

委員長 守田 幸則

11月19日から20日にかけて、国会で豚コレラ対策についての勉強会と国会（委員会）審議の傍聴をしました。

豚コレラ対策についての勉強会では、農林水産省職員からワクチン接種に至った経緯や防疫対策などの説明を受けました。また、当町でのイノシシの捕獲状況やその後の処理に苦慮している点について、国からの支援を求めるなど意見交換を行いました。

国会（内閣委員会）の傍聴では、「桜を見る会」につい



▲岡田官房副長官室を訪問

て審議されており、白熱した本場の論戦に目を見張る思いでした。また、岡田官房副長官、佐々木国土交通大臣政務官、宮本経済産業大臣政務官を訪ね、町の課題等について意見を交わしました。中でも岡田官房副長官室は、総理官邸内にあり、厳重な警備体制が敷かれており緊張の中での訪問となりました。総理や官房長官の記者会見室や組閣時の記念撮影の場となる階段などを見学することができ、貴重な体験となりました。

年賀状等のあいさつの禁止

議員は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞いなどの時候のあいさつ状（電報なども含まれる）を出すことは禁止されています。





●視察目的

- ・定住支援対策について
- ・婚活・子育て支援について

11月6日、山形県河北町議会厚生文教常任委員会一行7名が来町しました。

ようこそ 宝達志水町へ

議会を傍聴しませんか

議会では、宝達志水町をより暮らしやすい町にするため、予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

- 定員 21 名
- 受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。
- 手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

次回の定例会は

令和2年第1回町議会定例会
3月5日(木) 午前10時
3月13日(金) 午後2時

※会議の都合により、開催時間が遅れる場合があります。

令和2年2月1日 発行

- 発行 宝達志水町議会 責任者/議長 柴田 捷
〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623
E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp
- 編集責任者/塚本 勇仁

- 議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

委員長	塚本	勇仁
副委員長	小島	昌治
委員	守田	幸則
委員	土上	猛
委員	林	稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。